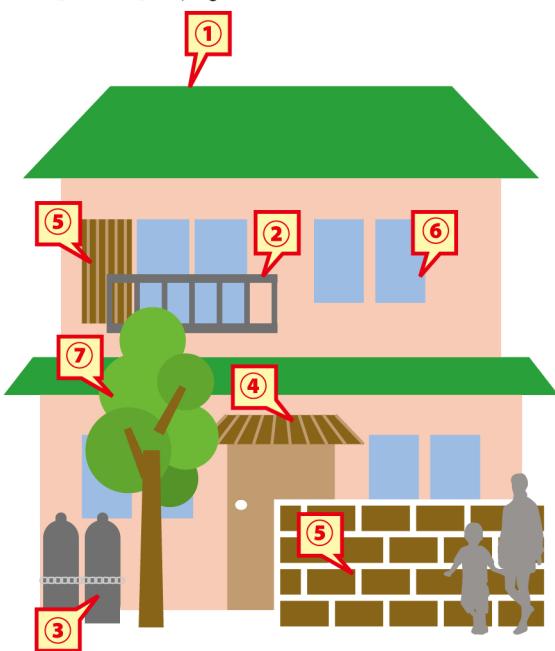


## (1) 家の外の安全対策 災害に備える7のポイント

家の周囲にも災害が発生すると危険なところがたくさんあります。

家の周辺やいろいろな小物の固定や点検、屋内への収納をしましょう。



## ①屋根

瓦のひび割れ、ずれ、はがれの確認をする。

## ②ベランダ

鉢植えや物干し竿等は飛散するので、屋内へ収納する。

## ③危険物等

プロパンガスの固定、商店等では看板のぐらつき、家の外周を確認し、飛散物は固定若しくは屋内に収納する。

## ④雨どい・雨戸

雨どいに落ち葉が詰まっていないか。雨戸にガタツキはないか。

## ⑤外壁

モルタルの壁に亀裂はないか。板壁には腐り浮きはないか。ブロック屏等は、ひび割れや傾き、鉄筋にサビがないか。

## ⑥窓ガラス

ひび割れ、窓枠のガタツキ、強風による飛来物対策をする。

## ⑦庭木

枯れた枝や、腐食の激しい木はないか確認をする。

## (2) 家の中の安全対策 災害に備える4のポイント



## ①家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋が幾つもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。

## ②寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子供やお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。

## ③家具は倒れにくいように置く

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱に寄りかかるように固定する。畳の上に置く場合は、家具の下に板を敷く。

## ④安全に避難できるように、出入口や通路には物を置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすい物を置かない。また、玄関にいろいろ物を置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。